

第2回統計教育シンポジウム報告

共催

お茶の水女子大学附属学校園連携研究
算数・数学部会



人間発達教育科学研究所
Institute for Education and Human Development

保育・教育実践研究部門

第2回シンポジウム

小中高の体系的指導で育てる

統計的問題解決力

～PPDACの授業を児童生徒とどうつくるか～

2019年3月21日（木・祝）

9:30 ~ 12:00

（受付開始 9:00～）

お茶の水女子大学 本館3階 306教室



105名申込 / 91名参加



平成30年度 お茶の水女子大学附属学校園 算数・数学部会

【小学校】

- ・ 岡田紘子
- ・ 落合菜々子
- ・ 河合紗由利
- ・ 久下谷明
- ・ 野萩孝昌

【中学校】

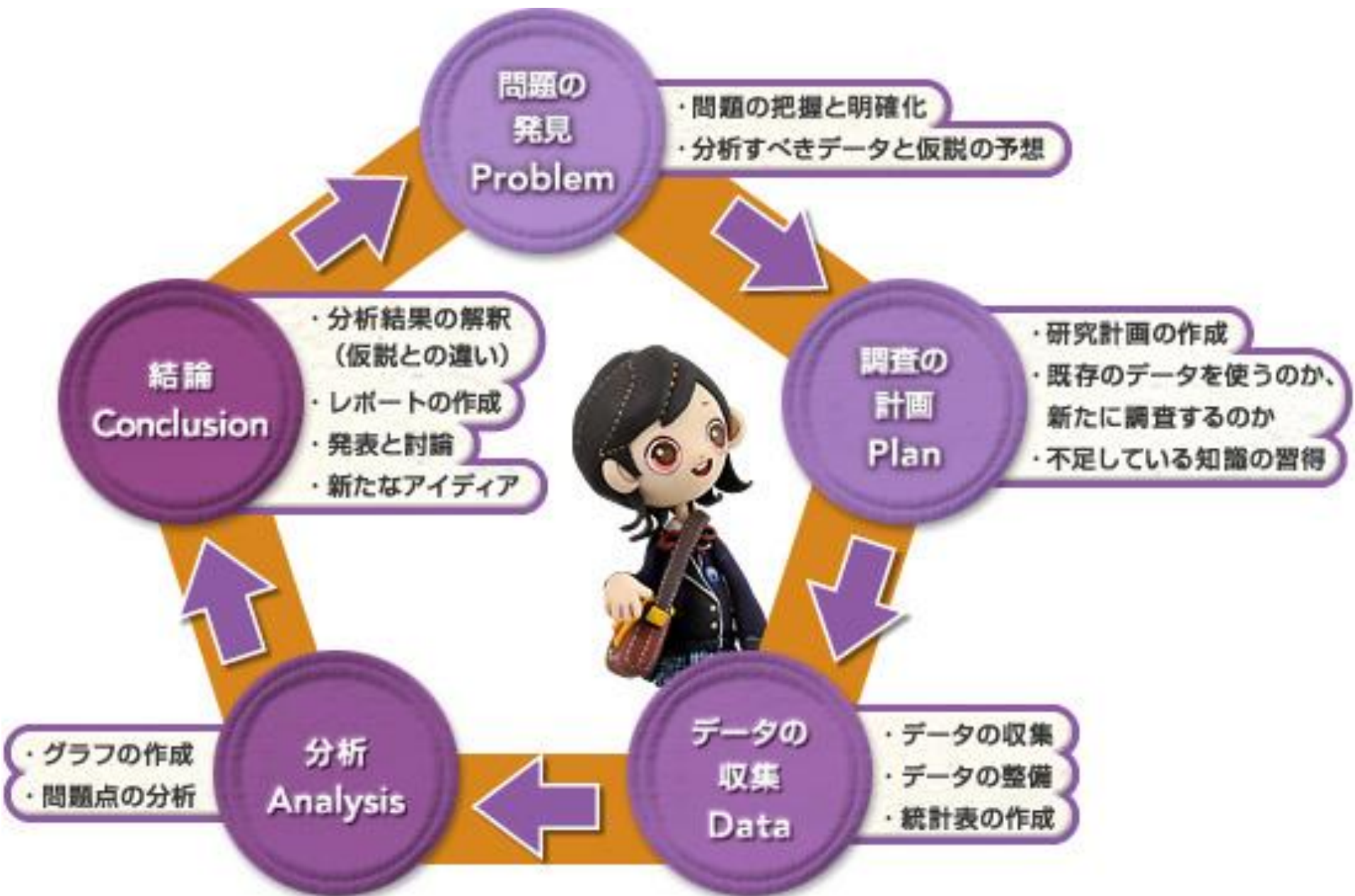
- ・ 大塚みずほ
- ・ 藤原大樹
- ・ 松本純一

【高等学校】

- ・ 阿部真由美
- ・ 十九浦美里
- ・ 三橋一行

【大学】

- ・ 加々美勝久
- ・ 真島秀行
- ・ 吉田裕亮



小学校実践

多面的・批判的に考察する芽を育む データの活用 of 授業



お茶の水女子大学附属小学校 岡田 紘子



次時の授業

ピンクは1枚で1点、水色は2枚で1点

Hand-drawn board content:

- Top right: 13枚はん
- Below it: 13枚
- Middle right: 18枚はん
- Below it: 7枚はん
- Bottom right: 2枚はん
- Bottom center: 6枚
- Right side list:
 1. [Drawing]
 2. [Drawing]
 3. [Drawing]
 4. [Drawing]
 5. [Drawing]
 6. [Drawing]
- Cloud notes:
 - ピンクは1枚で1点
 - 水色は2枚で1点

水色1枚は、半分とすればいいよ!



第1学年実践「整理して考えよう」

(1) **日常事象**から課題を設定し、目的をもって調べる



初めて給食を食べる新1年生のために、4月にどんなメニューが出たら新1年生が給食を大好きになるかおすすめメニューを教えてね！

何のために調べるのか？
目的をもって学ぶことが大切

(2) **重みづけ**が異なるデータを提示し、多面的・批判的に考察する見方・考え方を引き出す



しん1年生 おむかえプロジェクト②

きゅうしょく 大すき だいさくせん!

1- ()

1年3くみの おすすめメニューを みたところ、

「スパゲッティ」「カレーライス」「ラーメン」「カラフルサラダ

「子どもビールゼリー」「マーボーどん」「よもぎドーナツ」「まっ

ちゃとくりのケーキ」が あげられました。

よもぎドーナツは5月、まっちゃとくりのケーキは11月(お茶小のたんじょう日)に出します。ほかのメニューの中から、どれがよいか アンケートを取りたいと思います。

あたち先生より



1ばん、
おすすめ!

2ばん目に
おすすめ!

**1番おすすめと2番目
におすすめをきく**

給食室へ結果を伝える

2月 27日 しん1年生のおすすめメニューベスト6をおたえします。

1	カレー	カレー	カレー	カレー	カレー	カレー	カレー
2	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン	ラーメン
3	スパゲティ	スパゲティ	スパゲティ	スパゲティ	スパゲティ	スパゲティ	スパゲティ
4	子どもモバイルセリー	子どもモバイルセリー	子どもモバイルセリー	子どもモバイルセリー	子どもモバイルセリー	子どもモバイルセリー	子どもモバイルセリー
5	カラフルサラダ	カラフルサラダ	カラフルサラダ	カラフルサラダ	カラフルサラダ	カラフルサラダ	カラフルサラダ
6	マーホードン	マーホードン	マーホードン	マーホードン	マーホードン	マーホードン	マーホードン

1 じぶんかずき
2 ランキング
3 ハイカレー
4 イイラーメン
5 3人子どもモバイルセリー
6 4人スパゲティ
7 5人マーホードン
8 6人カラフルサラダ

かが1人おすすめ
が2人はじめにお勧め
わたしはあか
かぞえました。
①がカレー ②がカラフル
③がラーメン サラダ
④がスパゲティ ⑤がマー
⑥が子どもホー
ドン
モバイルセリー

きゅしよくをつくってるみなさんへ
2年生になってきゅしよくをたべるのが
たのしみです。

お茶の水女子大学附属学校園連携研究
算数・数学部会 第2回シンポジウム

附属中学校での実践事例

～初めての「箱ひげ図」の授業実践～

お茶の水女子大学附属中学校

大塚 みずほ

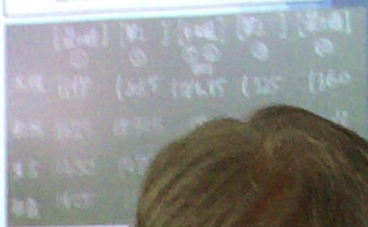
授業の実際

2 時間目：「箱ひげ図」をかく・読みとる

最近10年間の年間降水量 (mm)

	札幌	新潟	東京	那覇
2009年	1147	1790.5	1801.5	1804.5
2010年	1320	2072	1679.5	2890.5
2011年	1903.5	1808	1479.5	2122
2012年	1279	1810	1570	2733
2013年	1347	2027	1614	2071
2014年	1203.5	1984	1808	2384.5
2015年	1274.5	1467.5	1781.5	1425
2016年	1360	1499	1779	2368
2017年	1158	2026.5	1430	1907
2018年	1282	1790.5	1445.5	2469.5

- ① 箱ひげ図をかくにあたり、必要な5つ値の確認
- ② 5つの値が10個のデータの何番目の値であるか確認
- ③ 班員で分担して、表から値を見つける



授業の実際

1 時間目：「箱ひげ図」の導入と説明

よく雨が降る地域はどこでしょう？
あまり雨が降らない地域はどこでしょう？

“よく雨の降る地域” → “あまり降らない地域”

・ 沖縄
・ 三重県 お伊勢市

・ 瀬戸内
・ 北海道

年間降水量
雨温図

10年分くらい。
20年分くらい。
いや! 100年分くらい。

最近の
データ

【2017年の年間降水量（mm）】

	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋
2017年	1158	1320.5	2036.5	1430	1701.5

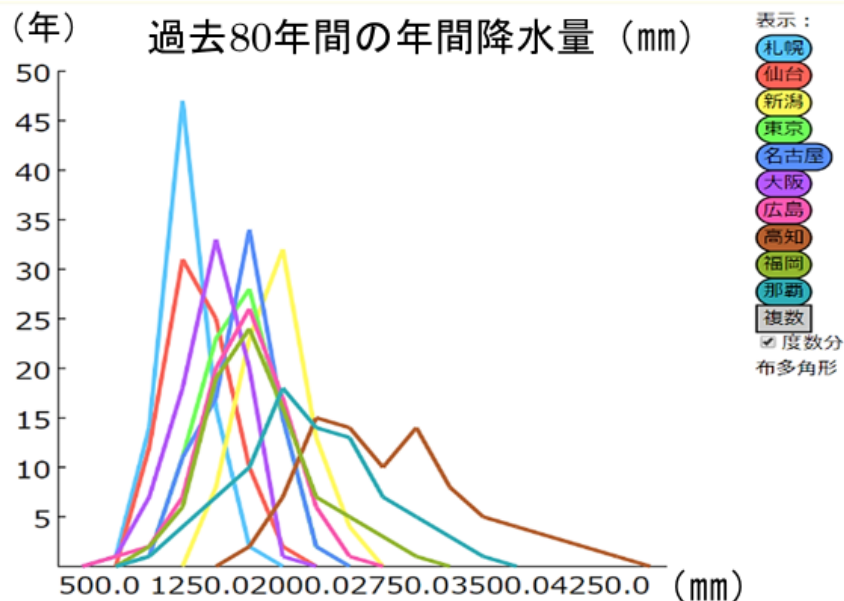
	大阪	広島	高知	福岡	那覇
2017年	1275.5	1619.5	2022	1318.5	1907

授業の実際

※統計ソフト：statlook

1 時間目：「箱ひげ図」の導入と説明

階級 (mm)	度数 (年)									
	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	那覇
以上 未満										
500 ~ 750	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
750 ~ 1000	11	12	0	1	1	7	2	0	1	1
1000 ~ 1250	49	30	0	11	10	18	7	0	7	0
1250 ~ 1500	17	26	7	23	18	33	19	0	19	7
1500 ~ 1750	2	10	23	28	34	20	27	1	23	10
1750 ~ 2000	0	2	33	15	15	1	17	7	17	18
2000 ~ 2250	0	0	13	2	2	0	6	16	7	13
2250 ~ 2500	0	0	4	0	0	0	1	14	5	14
2500 ~ 2750	0	0	0	0	0	0	0	10	0	7
2750 ~ 3000	0	0	0	0	0	0	0	14	1	5
3000 ~ 3250	0	0	0	0	0	0	0	8	0	3
3250 ~ 3500	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1
3500 ~ 3750	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
3750 ~ 4000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4000 ~ 4250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4250 ~ 4500	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
計	80	80	80	80	80	80	80	80	80	79



○ 高知のグラフが右側
 → よく雨が降っている
 ○ あまり雨が降らないのは
 札幌 (降水量が少く
 なるところは山が低い)

○ 1250.0 ~ 2000.0 のところが「多い」
 全国的に (山がたくさんあるところ)

折れ線が重なることによる
 読み取りにくさ

授業の実際

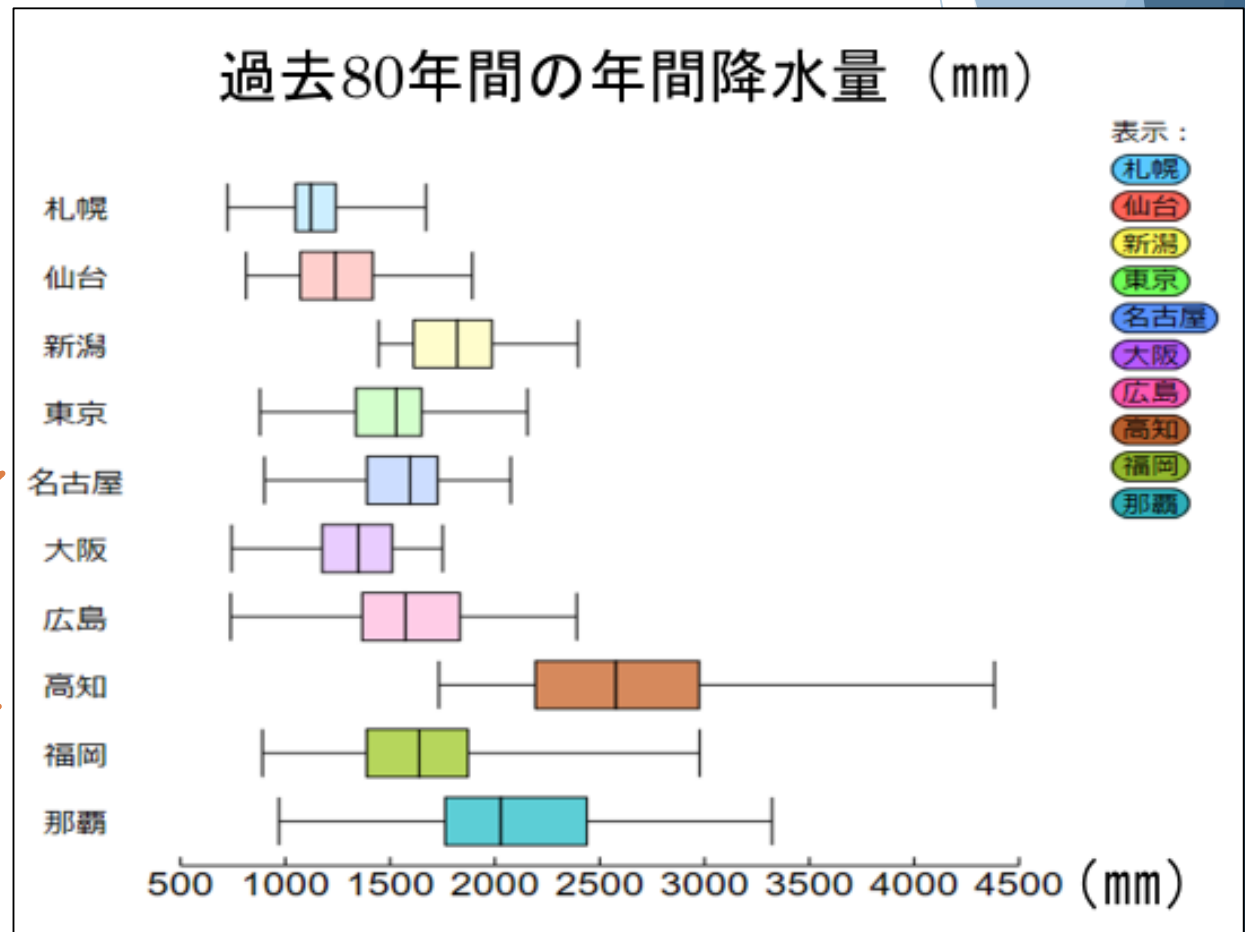
※統計ソフト：statlook

1 時間目：「箱ひげ図」の導入と説明

この図を見たときに、どの部分に目が向く？

四角い部分と真ん中の線

線の長さ



統計を用いた探究活動 ～ 反省と対策

お茶の水女子大学附属高等学校
数学科 三橋一行

その他, データサイエンスと数学

- ・データ分析の授業は、面白いが情報科の守備範囲では？
- ・DV(データ・ビジュアライゼーション)は興味深いが、パソコンと同じくデータ分析のデバイスとしての線型代数(ベクトルと行列)を導入できないか。



問 1

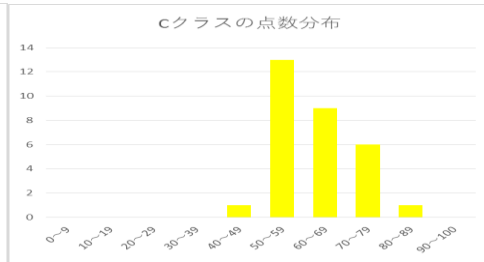
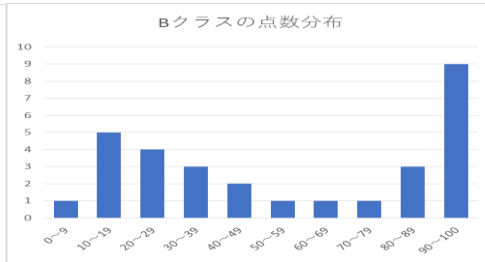
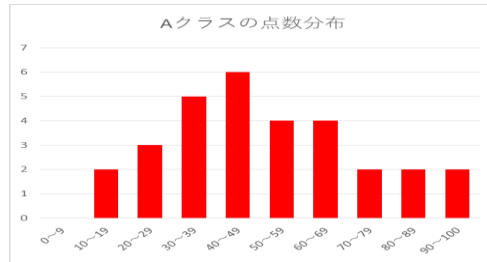
列1	Aバーガー	Bバーガー
平均	4.57	4.61
分散	0.68	2.58
標準偏差	0.83	1.62

ているとはいえない

標準偏差が大きい→平均から遠く離れたデータが多い
 確かに平均はBバーガーのほうが0.04cm長い、
 Bの標準偏差は1.62(cm)とAの0.83(cm)より明らかに大きいので比較的長さのそろっているAのポテトがBより劣っ

対処法として、クーポン券を贈呈する。

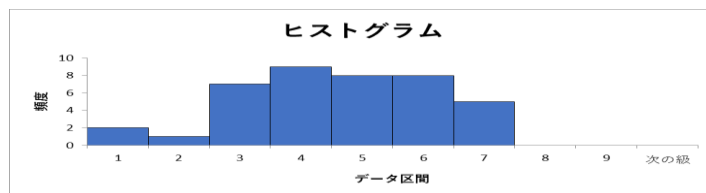
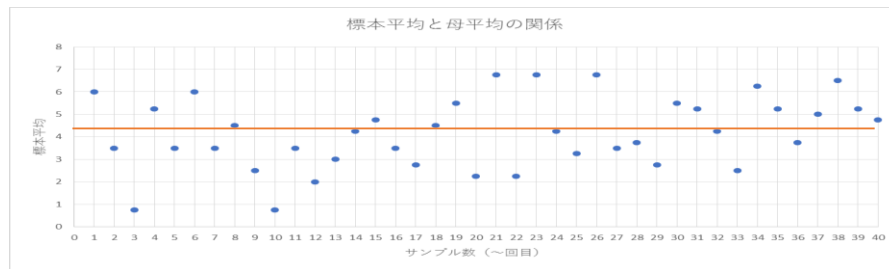
問 2



	Aクラス	Bクラス	Cクラス
平均	51.5	56.03333333	62.36666667
分散	514.916667	1244.89889	85.3655556
標準偏差	22.6917753	35.2831247	9.23934822

Aクラス→比較的学力はまとまっているが範囲が広い
 Bクラス→極端にできる人とできない人の差がある
 Cクラス→学力がまとまっている

問 3



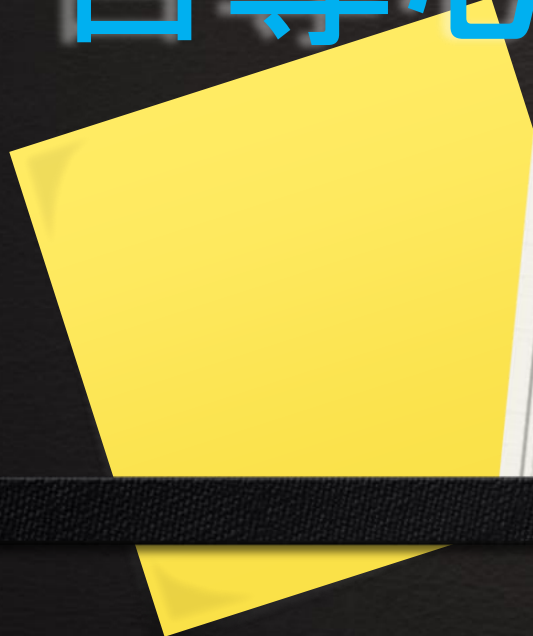
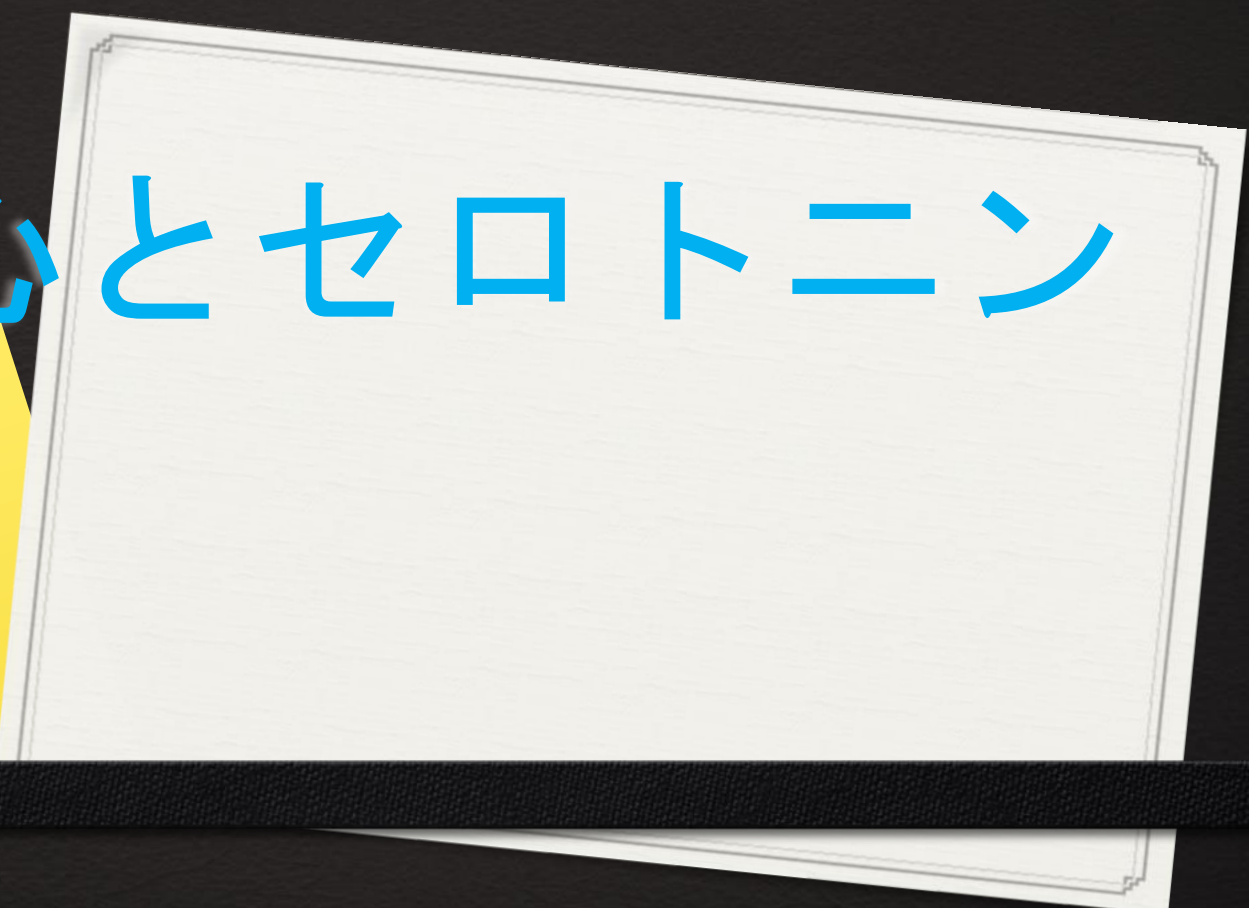
0～9の乱数を発生させたら平均は4.5になると思ったのにならず、もっと発生させる件数やサンプリングの大きさを大きくすれば4.5に近づくかなと思った。



木材生産量と
CO2排出量の
間に相関は
あるのか

※画像はイメージです。実際とは異なります。

自尊心とセロトニン

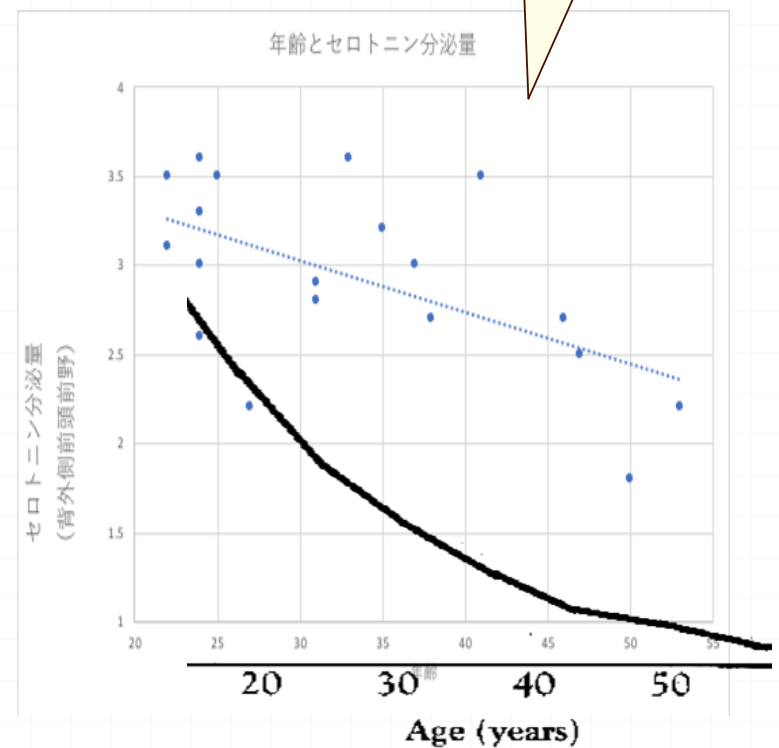
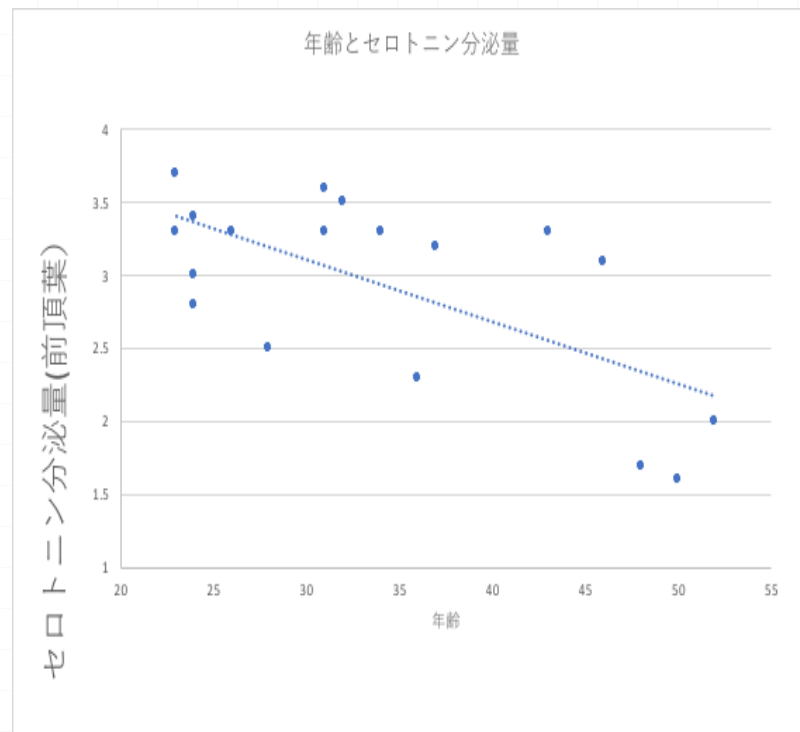


セロトニンと年齢

メラトニンと
セロトニンを
重ねた

セロトニンは年齢が上がると分泌量が減っている。

年齢とセロトニン分泌量の相関係数-0.63202,-0.56666

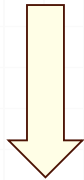




自尊心の変化

思春期の自尊心は特に変動が激しい

人生の中で一番下がる時期



セロトニンも減少している

思春期における自尊心の変化にはセロトニンが関係

結論

セロトニンの分泌量が
思春期に大きく減少していることは、
自尊心の低下に結びついている

本人も規則的な生活習慣を心がけるべき

➡ (睡眠をとる、ナッツを食べる、太陽の光を浴びる)

その他, データサイエンスと数学

・データ分析の授業は、面白いが情報科の守備範囲では？

・DV(データ・ビジュアライゼーション)は興味深いが、パソコンと同じくデータ分析のデバイスとしての線型代数(ベクトルと行列)を導入できないか。

AI時代の学校で、統計的探究プロセス PPDACをどう具体化するか

愛知教育大学 青山和裕
kaoyama@aeu.ac.jp

岡田紘子先生の小学校実践について

- ・ きれいに整理して並べるとわかりやすい(グラフの有用性)
- ・ 「多面的・批判的な考察」「重みづけ」
 - 同じ扱いでいいのかな? 思いをくみ取ってあげたい
- ・ 自分の経験や勘を頼りにしない
 - 「論より数字, 勘より統計」
- ・ 漏れや重なりのないようにきちんと集める・数える
 - データの収集方法, 記録のとり方, 数え方, etc...
 - Problem, Planは限定的に

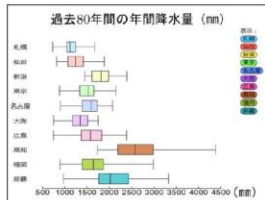
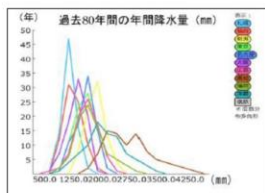


低学年でおさえない事項

グラフの有用性
データで確認する姿勢
きちんとした集計・整理の仕方

大塚みずほ先生の中学校実践について

- ・ 箱ひげ図の導入の仕方
 - ヒストグラム・度数分布多角形での困り感
- ・ 箱ひげ図の理解・読み取り
 - ヒストグラムとの違い: 面積が小さい方が密度が高い
- ・ 箱ひげ図では見えないこと:
 - 各区画のどこにデータがあるか
 - (元となる)データ数
 - 分布の様子
- ・ PPDACサイクルへとつなげるために
 - 別のデータ(降水量以外)も調べてみたい



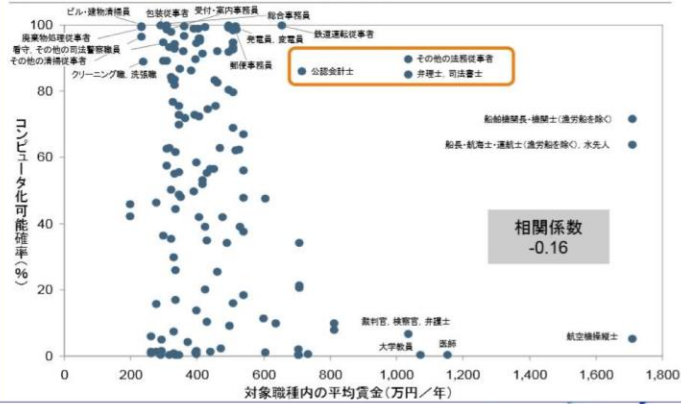
三橋一行先生の高等学校実践について

- ・ 新聞記事等を批判的に考察する
 - 記事の内容 > データの特徴と主張との整合性 > 調査対象・方法
- ・ 仮説を立てて探究
 - 予想との食い違い → 原因の追究 → 新たな仮説
- ・ 数学科での指導の範疇
- ・ 高度な統計解析の指導
 - 推定・検定の指導の扱い
 - 原理・方法の完璧な理解 ⇔ ブラックボックス
- ・ 大学入試制度改革との整合性



AIによってなくなる職業(野村総研)

職種ごとのコンピュータ化可能確率と平均賃金の分布



AI時代に求められる人材(野村総研)

AIやロボットによる自動化が難しい職業には、3つの特徴

創造的思考

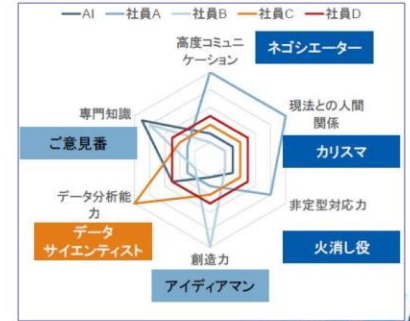
- 抽象的な概念を整理・創出することが求められるか (例: 芸術、歴史学、考古学、哲学、神学など)
- コンプラスを構築した上で、自らの目的達成に沿って、方向性や解を提示する能力

ソーシャル・インテリジェンス

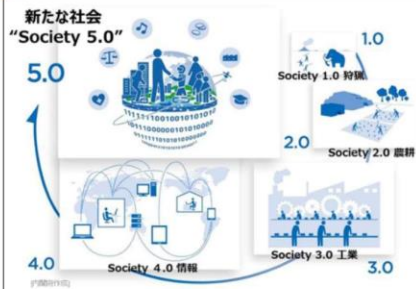
- 理解・説明・交渉といった高度なコミュニケーションをしたり、サブシズ志向性のある対応が求められるか
 - 自分と異なる他者とコラボレーションできる能力
- ※ソーシャル・インテリジェンス(社会的知性)
※社会的知性、コミュニケーションや協調性などの能力。

非定型

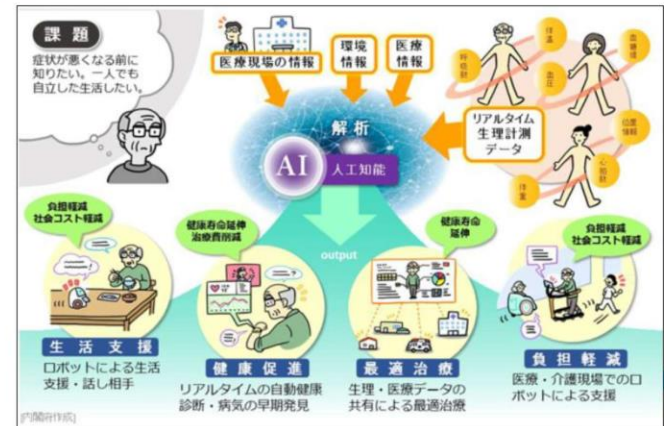
- 役割が体系化されておらず、多種多様な状況に対応することが求められるか
- 予め用意されたマニュアル等でなく、自分自身で何が適切であるか判断できる能力



Society 5.0の社会像



Society 5.0の社会像



Society 5.0において求められる人材像

Society 5.0における学びの在り方、求められる人材像

A I等の先端技術が教育にもたらすもの → **学びの在り方の変革**へ
 (例) ・スタディ・ログ等の把握・分析による学習計画や学習コンテンツの提示
 ・スタディ・ログ蓄積によって精度を高めた学習支援(学習状況に応じたコンテンツ提供、学習環境マッチング等)

学校が変わる、学びが変わる。 → Society 5.0における学校(「学び」の時代)へ
 ・一斉一律授業の学校 → 読解力など基礎的な学力を確実に習得させつつ、個人の進度や能力、関心に応じた学びの場へ
 ・同一学年集団の学習 → 同一学年に加え、学習到達度や学習課題等に応じた異年齢・異学年集団での協働学習の拡大
 ・学校の教室での学習 → 大学、研究機関、企業、NPO、教育文化スポーツ施設等も活用した多様な学習プログラム

共通して求められる力: 文章や情報を正確に読み解き対話する力
 科学的に思考・吟味し活用する力
 価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力
新たな社会を牽引する人材: 技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材
 技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材
 様々な分野においてA Iやデータの力を最大限活用し展開できる人材 等

「Society 5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会 新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース」より抜粋

3. Society 5.0に向けたリーディング・プロジェクト②

II. 基礎的読解力、数学的思考力などの基礎的な学力や情報活用能力をすべての児童生徒が習得

○新学習指導要領の確実な習得

- ・ 語彙の理解、文章の構造的な把握、読解力、計算力や数学的な思考力など基礎的な学力の定着を重視した**新学習指導要領**の確実な習得(全国学力・学習状況調査、大学入学共通テスト、学びの基礎診断でもこれらの力を重視)。そのため、個別最適化された振り返り学習など指導方法の改善や効果的な指導を支える教材、ICT環境、EdTechの整備を加速し、学習支援を充実する。
- ・ **スタディ・ログ等を蓄積した学びのポートフォリオ**の活用(1. 参照)により、学力の定着を促進する。

○情報活用能力の習得

- ・ 大学入学共通テスト(2024年〜)で「**情報**」を出題科目に追加することについて検討を開始する。
- ・ 小中高を通じてデータ・サイエンスや統計教育を充実する。

○基礎的な学力を確実に定着させるための学校の指導体制の確立、教員免許制度の改善

- ・ 小学校高学年における専科教員の配置など**学校の指導体制を確立**する。
- ・ 中学校・高等学校教員採用試験に比べ小学校教員採用試験の倍率が低迷していることや、中学校・高等学校でも技術科、情報科のような特定教科の免許状を保有する教員が少ないことを踏まえ、指導体制の質・量両面にわたる充実・強化を図る観点から、**免許制度の在り方**を見直す。(例:複数の校種、教科の免許状取得を弾力化すること、経験年数や専門分野などに応じた特定教科の免許状を弾力的に取得できるようにすること)

「Society 5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会 新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース」より抜粋

統計の社会的・国際的ニーズについて

「世界で最も貴重な資源はデータ」

The Economist誌
 (2017年5月6日)



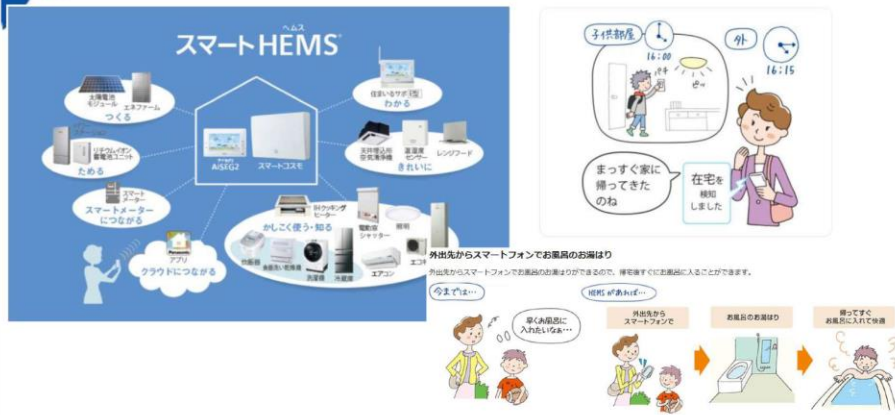
コンビニじの設定金額はなぜ700円か？

2017年5月25日(金)まで
 700円買って、くじにチャレンジ!
 その場で当たる! 人気商品 100円
 4,300円 2万円以上お買い上げで当たる!

以上お買い上げで
700円ガチャ引きチャレンジ!
 現金10000円
 人生を狂わせな!
 ドリームミニスロット!
 1万円・5千円・1万円お買い上げ370名さまに当たる!

冬の感謝祭
おみくじ
 700円以上のお買い上げスピードくじに
 チャレンジ!
 ボクろグループお買い上げ時
 賞品総額100万円、メンバー総額3000万円
 (おみくじは、賞品総額100万円)

IoT活用事例: Panasonic「HEMS」



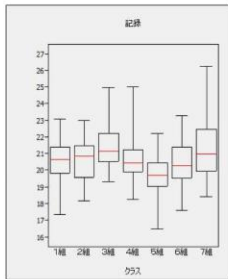
住友生命: Vitality



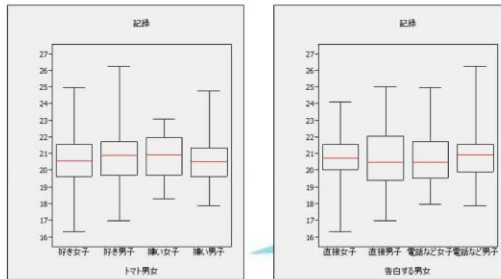
愛知県知立中学校・榊原先生の実践

「ジャストストップ! 20seconds!」(5時間)

<第1時~第2時>
箱ひげ図の導入とクラス比較



<第3時~第5時>
自分たちの仮説設定と分析・発表



PPDACの具体化・定着に向けて

- 「問題(Problem)」「計画(Plan)」
 - ◆問題状況(0ベース)からの「問題」「計画」は相当高度
 - ・DACについての見通しが必要
 - 基本となるデータセットからの「問題設定」「計画(追加したいデータ)」が現実的
 - クラウドでのデータ収集による労力の削減
- 「分析(Analysis)」
 - ◆高度な統計解析手法を指導すると「分析」だけで手一杯
 - 「使いこなす」のに必要な最低限の理解と探究プロセスの中での活用
 - 探究活動を通じて解析手法を指導することは可能か?



巻末資料1（小学校）：「測定値の平均」の指導事例
※昨年度シンポジウム発表資料

小学校 2017年書籍授業例7

小学校第5学年「測定値の平均」

お茶の水女子大学附属小学校
河合 紗由利



情報① お茶の水女子大学附属学校園 算数・数学部会 HP



昨年度のシンポジウムの報告、成果物の発信、統計の授業で役立つワークシートや統計データの提供、統計などの授業に関わる有益なリンク集を公開しています。リンク集では、フリーの統計ソフトの紹介もあります。

HOME ことば・国語部会 社会科部会 **算数・数学部会** 理科部会 表現を広げ深める部会 自学・自主研究部会

子どもの心とからだの発達部会 ICT部会 外国語活動・英語部会 エシカルラーニングラボ

算数・数学部会

算数・数学部会

小中高の視点から算数・数学の授業をつくる～統計的問題解決力の育成に向けて～

お茶の水女子大学の特色のひとつとして、大学及び附属学校園が同一キャンパスにあり、距離的には教員同士が集まりやすい環境にあります。とはいつても、時間的には大学、附属学校それぞれの時程があり、皆多忙であり、時間調整は大変です。そこで、十年程前から部会を立てて、予め毎月1回ずつ部会を開けるように毎年の年度初めに日程を決め、連携研究を進めています。

算数・数学部会では、各教員の授業実践や試験問題、学習指導上の問題など、さまざまな情報交換、議論をしてきましたが、平成28,29年度あたりは、統計教育に焦点を当てて、重点的に議論しています。その成果として、附属学校に関わる教員の、統計教育等についての授業実践、情報交換や議論した結果をもとに書籍を2018年2月に発刊しました。そこには、教育課程全般に渡ること、小学校、中学校、高等学校での授業実践と校種間の接続への留意点が含まれています。本研究が統計教育の現場で役立つことを願っています。

メニュー

- 研究成果
- 授業で役立つ統計データやワークシートなど
- リンク



【研究の成果物】

東洋館出版社様のご協力により、本会場入口付近でお買い求めいただけます。まずはお手にとってご覧ください。

情報② お茶の水女子大学附属学校園 教材・論文データベース HP



お茶大とお茶大附属学校園4校園が開発・実践してきた教育コンテンツ（教材、指導案、論文、発表資料等 約300件）を広く公開しています。そのコンテンツを基にした他校での実践事例、実践者のコメント等も掲載してあります。

【教材・論文の一部】

「ひろさくらべ」（小学校）

「倍の考え（小数倍）」（小学校）

「資料の整理（データの活用）」（小学校）

「活用する力を身につける数学科授業の開発ー1次関数における知識の活用場面に着目してー」（中学校）

「いかさまダイス（統計的確率）」（中学校）

「折り紙で立体を折ろう」（高校）

「数学の活用に関するー考察～ゲーム理論の授業から～」（高校）



国立大学法人 お茶の水女子大学附属学校園 教材・論文データベース



お茶の水女子大学
Ochanomizu University



お茶の水女子大学附属幼稚園
Ochanomizu University Kindergarten



お茶の水女子大学附属小学校
Ochanomizu University Elementary School



お茶の水女子大学附属中学校
Ochanomizu University Junior High School



お茶の水女子大学附属高等学校
Ochanomizu University Senior High School

本データベースの概要

参加者アンケートより n=70

満足度

どちらともいえない

1%

やや不満

0%

不満

0%

満足

37%

とても満足

62%

■ とても満足

■ 満足

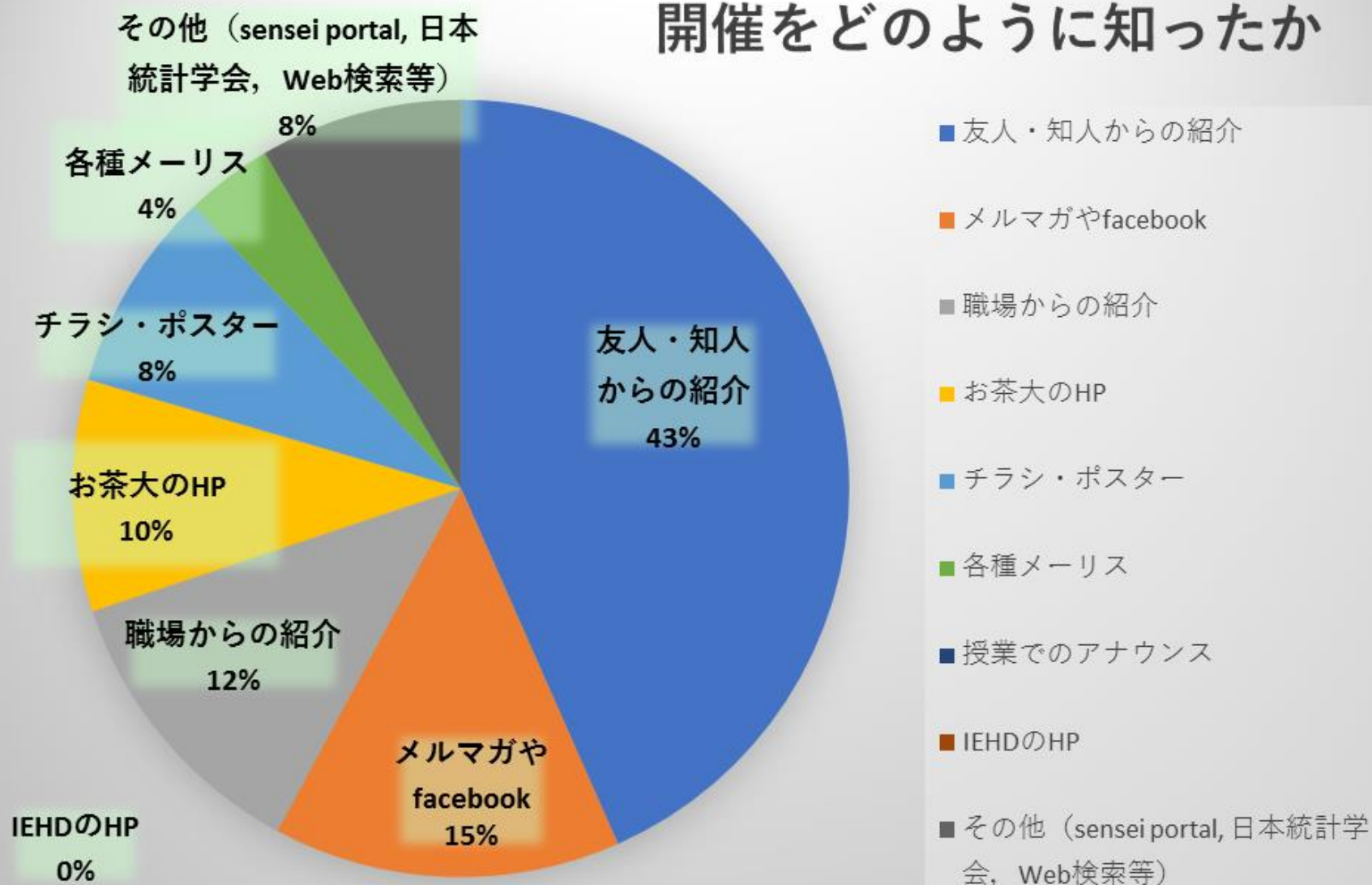
■ どちらともいえない

■ やや不満

■ 不満

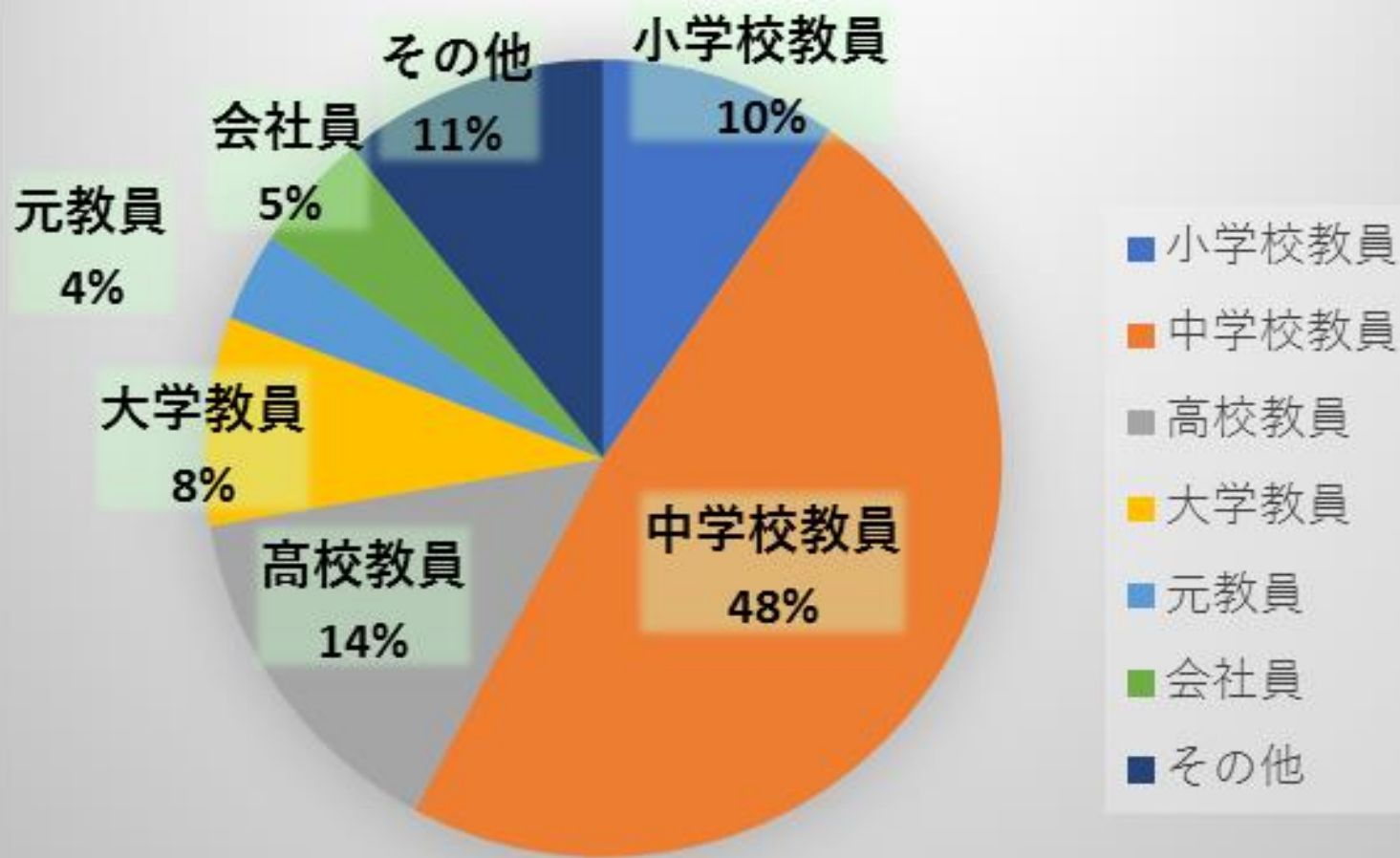
参加者アンケートより n=83

開催をどのように知ったか



参加者アンケートより n=83

参加者の職業 内訳



参加者アンケートより n=132

参加者の関心 内訳

その他（幼児教育）
1%

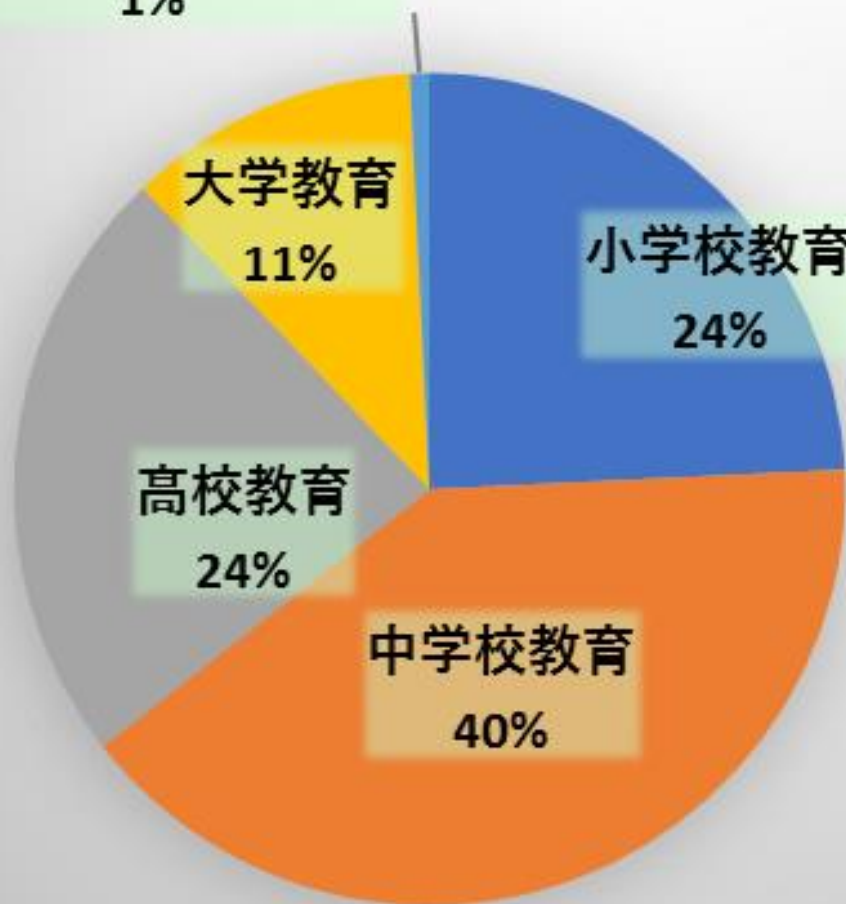
大学教育
11%

小学校教育
24%

高校教育
24%

中学校教育
40%

- 小学校教育
- 中学校教育
- 高校教育
- 大学教育
- その他（幼児教育）



参加者アンケートより

- (小・教員) 実践発表も青山先生のご発表も大変勉強になりました。小中高の実践を一度に聴ける機会はなかなかないので、大変貴重な会でした。ありがとうございました。
- (小・教員) 実際の統計の授業を小中高で見たい。そのあとの協ギ会をした方がおもしろかったと思う。少し連携が見えづらかった。
- (中・教員) 小学1年生のレベルが大変高くおどろきました。重み付けの工夫が素晴らしく、ためになりました。講話は1時間という時間でないくらい濃いものでした。教材研究したくなりました。
- (中・教員) 小中のつながりが強調されていて、わかり易かったです。また、資料も多くあり、ありがたいです。加々美先生のP.P.ももらえるといいなと感じました。「PPDACの授業」というのが1つのテーマだったと思いますが、箱ひげや相関係数といった言葉に注目が集まっていたので、そもそものプロセスがどうだったのか、実践をふり返る視点としてあってもよかつと思ひます。ありがとうございました。
- (中・教員) 幼小中高大と発達の段階に応じて、つながりを意識して指導していくことが大事なんだと分かった。一日ですごい勉強になりました。まずは授業をする前に、私自身が勉強しないといけないと思ひました。

参加者アンケートより n=132

- (中・教員) 箱ひげ図、まだまだ理解できていない教員が世の中にたくさんいると思います。いい提案をありがとうございました。
- (高・教員) 私は社会科教員です。もしかしたら本日のシンポジウムの参加者は、ほとんどが算数・数学の先生かもしれませんが、統計教育は教科に関わらず、どの教員にも関係するものではないかと思っています。ぜひ次回のシンポジウムはより開かれた会になることを期待しています。ありがとうございました。
- (中高・教員) 最近データの分析の授業をして上手いかない部分が多々あり、参考にさせていただきたく参加しました。相関係数の取り扱いが難しかったです。分析の初めにもってくるということに納得しました。
- (大・教員) 小中高のそれぞれの実践研究についてはよく理解できましたが、テーマである小中高の体系的指導の現段階の状況や今後の見通しをもう少し知りたかったです。青山先生のお話しをもう30分位ほしかったと思います。
- (大・教員) 小学生の実践がとても面白く感じました。幼児であれば同じ大きさのカードを渡して好きな果物を描き、それを並べてみるということもできそうです(カードの裏の工夫がとても素晴らしいです)。幼稚園やこども園の先生とも共有できたらよい内容だと考えました。
- (会社員；小保護者) 小中高、全ての先生の授業内容や目的、目指す事が、それぞれ聴く機会はないので、非常に参考になり興味深かったです。例えば、先生以外の方も幅広く参加することで、よりお茶の水の教育方針が理解されると思いました(附属校の父兄が聴く事で、より学校への理解も深まるかもしれません)。